

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	12	学校名	畝傍高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	幼稚園との交流活動
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	特別活動（生徒会活動） 学校生活の充実を図るために計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることによって自主的、実践的に取り組む態度を養う。
連携・協働相手	檀原市立晩成幼稚園
地域と共有している目標・課題等	世代間交流を通して、家庭・地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>11月に園児（5歳児）が本校に来校し、芸術体験（書道）を行った。また、高校生が園児に教えることを通じて園児が表現したい作品を高校生とともに制作した。</p> <p>また、12月には高校生が幼稚園を訪問し、読み聞かせや遊びなどの保育活動に参加した。</p> <p>さらに、1月に園児（5歳児）が本校に来校し、正月遊び（たこあげ、コマまわし）を行った。</p>	

2. 事業の成果と課題

少子高齢化が進行している現在、小さい子どもを見たりふれ合ったりする機会が減っている。本校に園児が来てくれることにより、直接交流する生徒だけでなく、他の生徒も園児の様子を見ることができた。また、休み時間にすれ違う生徒が園児に声をかけることもあり、小さい子どもの立ち振る舞いを観察することができた。交流に参加した生徒は、幼児と関わることで、自己達成感や今まで育ててきてもらった親への感謝、これから主体的に社会を創造する立場であることを実感することができた。今年度は、交流回数が、本校で2回、幼稚園で1回実施することができた。今後も内容や機会を検討し、学校全体で地域と共にある学校づくりをさらに推進していきたい。

